

愛知県立安城農林高等学校開校記念館及び正門



全景（北東から）



正門（南から）

愛知県立安城農林高等学校は、安城市中部の池浦町、JR 安城駅の北西 1 km に位置し、前身が明治 34 年（1901）に愛知県立農林学校として開校した県内有数の伝統校です。初代校長の山崎延吉は多角形農業を提唱し、「日本デンマーク」安城を支えた多くの人材を育てました。この地域の発展は、ここ安城農林高等学校における先進的な農業教育の賜物といわれています。

開校記念館は、明治 36 年（1903）、校地の東方に広がる農場を見渡す位置に農場監理所として建築され、現在は開校以来の資料を保管している建物で、県立高等学校に残る最古の建物です。構造は、木造平屋建て、寄棟造棧瓦葺き、基礎は煉瓦造となっています。正面入口には「開校記念」と記された額が掛けられ、外壁は下見板張り、白ペンキ塗りとし、場所によって 2 種類の下見板の張り方を使い分ける珍しい施工を行っています。正面と側面は窓台より下にアメリカ下見板が張られ、窓台より上はドイツ下見板としています。また、背面は上部 6 段と角屋の取り付く周囲にドイツ下見板が張られ、それ以外はアメリカ下見板としています。全体の雰囲気は、17～18 世紀のアメリカ開拓期に流行したエリザベサン様式に類似しています。日本でも 19 世紀末の北海道開拓にこの様式が流入し全国に普及しており、この建物はその典型例といえます。なお校地南辺の中央には一部改変があるものの石造の正門が所在しています。

旧明治郵便局局舎及び官舎



局舎（南西から）



官舎（南西から）

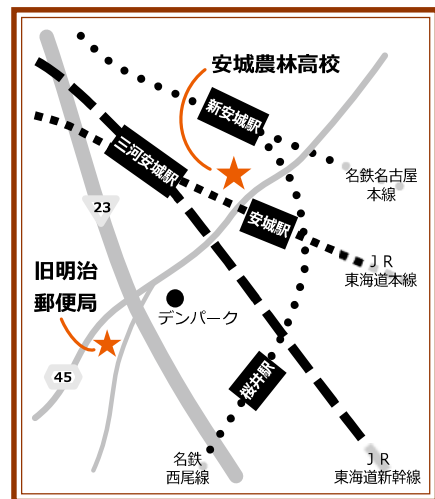
旧明治郵便局は、安城市南西部の和泉町、名鉄桜井駅の西 4.5 km に位置し、明治 44 年（1911）、江戸時代に庄屋を務めていた神谷家により開局された三等郵便局です。

局舎は、木造平屋建て、寄棟造棧瓦葺き、規模が 4 間×5 間の建物で、外観などに洋風の意匠を採用しながらも、小屋組には和小屋を用いています。また、大棟の端部には十字の文様を施した鬼瓦を置いています。外壁はアメリカ下見板張りで、隅柱及び玄関両脇柱を付柱状にみせています。

官舎は、近代の数寄屋趣味を加味した正統的な書院の構えを示す建物です。木造平屋建て、西面寄棟造、東面切妻造、棧瓦葺き、南・西・北面に下屋庇が付いています。

これらの建物は、局舎と官舎がそろって残っている点で注目されます。元は西側の道路に面していましたが、昭和 55 年（1980）に後方へ曳家されています。また、平成 19 年には安城市の指定文化財となり、局舎は平成 21 年度に実施した保存修理の際、本来の外壁色である水色に復原されています。

<参考文献> 愛知県の近代化遺産(平成 17 年、愛知県教育委員会)



愛知県教育委員会生涯学習課文化財保護室
 TEL: 052-954-6783
 E-mail: syogaigakushu@pref.aichi.lg.jp

